



<ご予約・お問合せ>

TEL ▶ 0555-20-4052 FAX ▶ 0555-20-4053

www.c-ls.jp

カントリーレイクシステムズ

検索

カントリーレイクシステムズ

〒401-0305 山梨県南都留郡富士河口湖町大石 2954-1 代表e-mail info@c-ls.jp

カントリーレイクシステムズは(株)エコビジョンブレインズの自然体験活動推進事業部のブランド及びその名称です

本誌に記載の写真・文章の無断転載を禁じます。ご相談は当社までご連絡ください。©エコ ビジョン ブレインズ



株式会社 エコ ビジョン ブレインズ

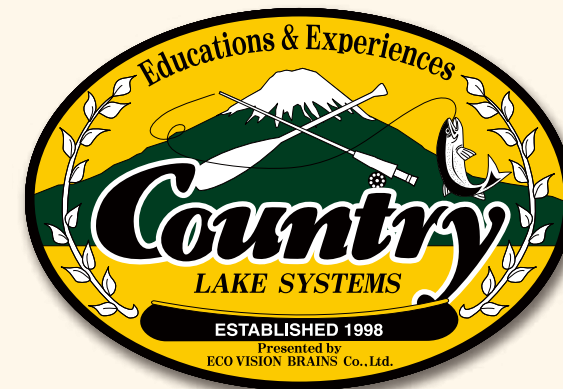
〒401-0305 山梨県南都留郡富士河口湖町大石 2955-4

TEL 0555-20-4052 FAX 0555-20-4053

代表e-mail info@evb.co.jp

URL http://www.evb.co.jp

2011.07.3,000



カントリーレイクシステムズ

団体・教育旅行 プログラム

山梨県 富士河口湖町
富士山の豊かな自然の中で

2011年7月 改訂版

Message

We advocate “ Say hello to The Nature ”

・・・自然と向き合うこと・・・私たちは提唱します

エコビジョンブレインズは、富士山北麓をはじめ山梨県の豊かな自然の中で、観光や教育旅行で訪れる方々に対して、質の高いアウトドア事業及び教育活動等様々なエコツアー／サービスを提供し、地域の環境問題延いては地球の環境に目を向けるための機会の創出を積極的に展開していくことをコンセプトとしています。これは、地域特有の自然資源を最大限活用することを鑑みれば、観光振興事業とも密接な繋がりを持ち合わせている性質であり、観光地の多元多様な観光関連施設の役割の中でも非常に重要なポジションであるとも考えています。

また、私達が展開する事業やプログラムを通し、理想とする自然指向のライフスタイルの提案や高度の教育効果を実現するためのリーディングカンパニーを目指す当社には、

“ We do something for the Nature ”

私たちは自然環境に対し何か行動するという意志を持つ

というミッションステートメントがあり、大いに自然と触れ合い、環境のことを想い、自分と向き合い、何かアクションを起こすため、または参加者の方々がアクションを起こすための環境を整えることや意識の醸成を促すために、「自らもマーケットや参加者の一員であるという立場で常に考え、お互いが感動できる事業やプログラムを提供する」という姿勢を創業以来貫き、先駆的、先進的な取り組みを行うために社員が一丸となっています。

将来に向けて、エコビジョンブレインズは、ミッションステートメントを追求し続け、マーケットニーズに的確に対応し、自然資源の有効活用やこれまで培ってきた専門性やユニークなアイデアをプログラムに生かすことによって、ご利用者の方々の満足度を更に高め、多くのお客さまのご期待に応えてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 エコビジョンブレインズ
代表取締役・CEO

田村 孝次

目次

野外プログラム	カナディアンカヌー体験	 P 03-04	全天候対応プログラム	テン刻作り体験	 P 10
	マウンテンバイク体験	 P 05		エコキャンドルワークショップ	 P 11
	河口湖フィッシング体験	 P 06		オリジナルバター作り	 P 11
	青木ヶ原樹海&洞窟探検	 P 07		わらじ作り体験	 P 11
	ノルディックウォーク	 P 08		フラワーアート	 P 11
	ネイチャーガイドウォーク	 P 08		農業体験プログラム	 P 12
全天候対応プログラム	カリンバワークショップ	 P 09	その他のプログラム	 P 12	
	ドリームキャッチャー作り	 P 09	思い出に残る記念写真	 P 13	
	機織り体験	 P 09	安全管理体制について	 P 13-14	
	甲州名物ほうとう作り	 P 10	期待される能力や教育効果	 P 14	
	縄文式土器作り	 P 10	Q & A	 P 15-18	

アイコン説明



ユニバーサルアクティビティ(ご相談ください)

身体障がいや知的障がいをお持ちの方も参加可能なプログラムです。



企業研修にも対応可能

社員・管理職研修等対応可能なプログラムです。



時間調整可能

プログラム時間の調整が可能です。



小学生以下実施可能(ご相談ください)

小学生以下の児童も参加可能です。



雨天実施可能

雨天も実施いたします。



3シーズン催行

冬季または降雪時以外の3シーズン催行可能です。



オールシーズン催行

1年を通して催行可能です。



荒天時お勧めプログラム

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

荒天時お勧めプログラム

荒天により屋外プログラムの催行を中止した場合の屋内で行う代替プログラムです。

※記載内容は予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。

カナディアンカヌー体験

カナディアンカヌーの体験を通して、基本漕艇技術はもちろんのこと、水辺での遊び方やルール・マナーなど、違った角度からの自然とのふれあい・自然の力を感じます。

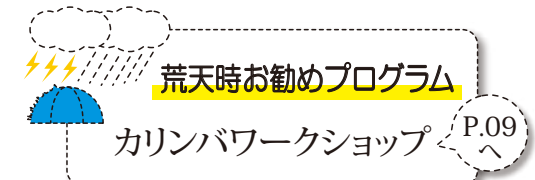


対応人数 小・中学生 ～ 90名
高校生以上 ～ 60名

指導体制 おおむね
5～7艇に指導者1名

場 所 河口湖北岸、他

所要時間 2～3時間



カナディアンカヌーってなに？

オープンデッキカヌーやインディアンカヌーの別名を持つカナディアンカヌーは、カヌーに乗り込んだ前後の2人がパドルという漕ぐ道具を使って、それぞれの片側を漕いでカヌーを操ります。
(中学生以下の場合、カヌーを安定させるために3人一組で乗り込み、乗る場所により異なる役割を交代で体験します。)
もともと、荷物を運んだり狩りや漁をするのに使われていたので、安定性が良く、簡単にひっくり返ったりはしません。



プログラムの流れ

- 安全に関する説明
 - ・ライフジャケットの正しい装着方法・重要性
 - ・低体温症の危険性について
 - ・水辺利用のマナーについて
- 20分
- 実技(陸上)
 - ・ライフジャケット・パドルの配付、着用
 - ・離着岸の方法、基本的な操艇方法、他
 - ・カヌーイング時の危険行為及び危険回避方法、転覆時の救助の待ち方の説明
- 30分
- 実技(湖上)
 - 基本的な操艇技術(直進・後進・左右回転)
 - 離着岸の方法、他
- 40分
- イベント
 - 「ツーリング」または「ミニレース」、他
- 60分
- 終了・着岸
 - カヌーの片づけ
 - パドル・ライフジャケット回収
 - ふりかえり
- 30分

カヌーに適した服装・装備



- ▶季節に合った運動に適した服装(体操着等)、化繊推奨
- ▶足元は濡れても良い脱げにくい履物(スポーツサンダルやスニーカー・体育館履等)※長ぐつは不可
- ▶雨天時は雨カッパ(上下別のもの)をお勧めします。
- ▶水分補給のための500mlペットボトル飲料水
- ▶帽子(UVを直接受けますので、あると便利です。)
- ▶メガネバンド(陸上と違い落してしまったメガネは回収することは出来ません。)
- ▶着替え一式(万一「転覆」した場合に備え)・バスタオル
- ▶「転覆」した場合への配慮から、防水機能のない時計や携帯電話、貴重品などは持ち込まないでください。

ぜったい安心! ライフジャケット

当社で準備している浮力7Kg以上のライフジャケット(正式にはPFD = Personal Flloating Device)を必ず全員に着用して頂きます。

< 浮力について >

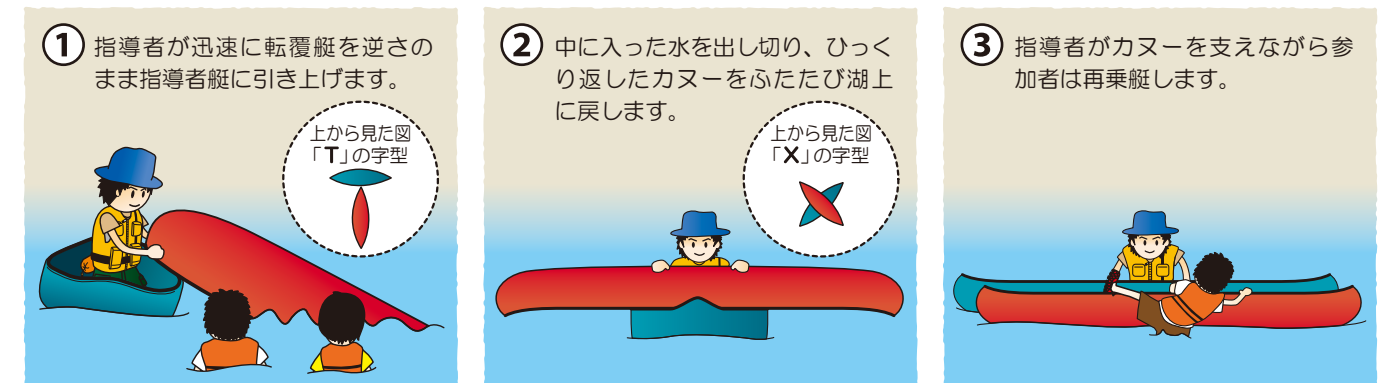
物質は水中ではおおそ $\frac{1}{9}$ の質量になり、逆算すると浮力7kgライフジャケットで9倍の63kgまでの物を水面に浮かせることが出来ます。
更に、物ではなく人に当てはめると・・・人間の体は約70%が水分です。
人が水に入った場合、水の中で水の重さは打ち消されるので、この7Kg浮力のライフジャケットで約100Kgの人まで沈むことなく浮かせていることが出来ます。

ライフジャケット



緊急時の対応策! TXレスキュー

もしもカヌーが転覆した場合、技術的にビギナーが自分達でカヌーを復帰させることは不可能です。転覆した場合、訓練を受けた指導者が「TXレスキュー」と言う方法で参加者を復帰させます。以下はその流れです。



※船外機付きレスキューボートの配備も可能です。ご希望される場合はご相談ください。

TOPIC

こわーい低体温症

日本の水難事故の多くは、低体温症が引き金になっていると言われています。低体温症とは体温が外部の物理的な要因によって放熱されすぎることを言います。これを防ぐために人間は体温調整機能を持っていますが、体温が下がり続けると段階的に体調の不調が現れ、優先的なケアを施さなければ心肺停止に至る恐ろしい症状です。

カヌー体験プログラム中において、参加者が万一転覆した場合、この低体温症が危惧されますが、レスキュー訓練を積み重ねている直近の指導者がカナディアンカヌーの独特なレスキュー方法(TXレスキュー)で即座に救助します。低体温症のケアはカヌーのような水場の活動に限らず、全ての野外活動で考えておかねばならない重要な安全管理の視点です。

マウンテンバイク体験

富士山麓や周辺の自然を舞台に「山を走る」マウンテンバイク(MTB)体験を通して、基本的な自転車の仕組みやMTBの操縦方法、山での遊び方の発見やルール・マナーなどを体得します。



対応人数 ～40名
指導体制 おおむね20～40名に指導者2名
場所 富士山周辺施設・他
所要時間 2～3時間

荒天時お勧めプログラム
カリンバワークショップ P.09

マウンテンバイクってなに？

近年MTBは、本来の目的をよそにちょっとオシャレな自転車として、街中でもよく見かけます。ですがこのMTBはオフロードで走ってこそ本来の力を発揮するものなのです。なぜならば、今から50年ほど前のアメリカ西海岸で産声を上げました。きっかけは、地元の中学生が、山を走るためだけに古い自転車(クランカーズ＝おんぼろ)に改造を重ね、海岸線を見下ろす「自然豊かな山々から駆け降りよう！」がアメリカ全土に広がり、ブームを巻き起こしたのが始まりであるからです。



MTBに適した服装・装備

- ▶ 季節に合った運動に適した服装(体操着、長袖・裾の広がっていない長ズボン等)、化繊推奨
- ▶ 足元は運動靴やスニーカー等、脱げにくいもの
- ▶ 雨天時は雨カッパ(上下別のもの)をお勧めします。
- ▶ 軍手やスポーツ用手袋など(手のひら保護のため)
- ▶ 着替え(万が一「転倒」した場合に備え)
- ▶ 水分補給のための500mlペットボトル飲料水(車体にボトルホルダーがあります。)
- ▶ タオル(首にしっかり巻くことのできるもの、手に持つのは不可)
- ▶ 「転倒」した場合への配慮から、時計や携帯電話、貴重品などは持ち込まないでください。

※ヘルメットをかぶるので帽子は不要です。



TOPIC

マウンテンバイクプログラム安全対策

マウンテンバイクプログラム運営で特に重点を置いているのは、複雑極まりないマウンテンバイク本体の整備です。プログラム前には必ず1台1台自社のプロメカニックが点検整備を行い、記録に残しています。最大限、機械的な故障や整備不良からの事故発生防止に努めています。

プログラムの流れ

- MTBに関する説明
 - ・MTBとはどんな自転車か
 - ・サドルの高さ調節方法の説明
 - ・車両の説明
- 実技(各自)
 - ・ヘルメットの安全な装着方法
 - ・自分に合わせたサドル調整
 - ・比較的平らな場所での練習
 - ・オフロードでの乗り方、練習
- イベント
 - ・林間コース、オフロード体験
- 帰着・終了
 - ・ヘルメット、MTB回収
 - ・ふりかえり

河口湖フィッシング体験

このフィッシング体験を通し、魚の生態や外来種について、また環境保全や水辺での遊び方やマナー等を理解します。河口湖は、年間を通して多くのトーナメントが開催され、全国からバスフィッシングファンが訪れることから、「バスフィッシングの聖地」と言われています。



対応人数 ～150名
指導体制 おおむね50名に指導者1名
場所 河口湖北岸・他
所要時間 2～3時間

荒天時お勧めプログラム
ドリームキャッチャー作り P.09

河口湖生態系の現状

富士山の歴史と密接な関係を持つ河口湖。「太田川」と言われた太古の川が、富士山の噴火によって堰き止められて、(自然)湖として誕生しました。ここには、数十万年の時の流れの中で日本固有の様々な生物が棲んでいます。今ではブルーギルやブラックバスといった外来種も生息しています。



記念品として
オリジナル缶バッジを
プレゼント!



バスフィッシングに適した服装・装備

- ▶ 季節に合った一般的な運動に適した服装(体操着)、化繊推奨
- ▶ 靴はスニーカーなどの滑りにくいもの
- ▶ 帽子(釣針の引掛り防止とUV対策のために必要です。)
- ▶ 雨天時は雨カッパ(上下別のもの)をお勧めします。
- ▶ 水分補給のための500mlペットボトル飲料水

プログラムの流れ

- バスフィッシングに関する説明
 - ・ブラックバスの生態
 - ・用具の名称
 - ・用具の使い方
 - ・投げ釣りの基本練習
- 実技(陸上)
 - ・取り扱いやすいロッドとえさのセットを用意して、岸辺から投げ釣り開始
- 環境トーク・終了
 - ・特定外来生物・在来種保護・湖の環境について
 - ・ふりかえり
 - ・記念の缶バッジプレゼント

※1.当プログラムでは在来種保護や生態系保全の観点から、釣った外来種の再放流はせず、プログラム終了時までイクスに捕獲し、その後は飼料・肥料等として処理しています。

※2.ロッド・リールの破損は実費(各3,000円程度)をご請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

※3.一般団体の場合、ルアー(1個分の料金含む)に変更も可能です。

青木ヶ原樹海&洞窟探検



自然のルール「森の遷り変り」が手に取るように分かる原生的な森「樹海」や富士山の噴火でできた「溶岩洞窟」の探検など、他の地域では体験できない富士山ならではの自然の神秘・畏敬を感じ、自然に対する理解を深めます。

対応人数 ～40名
※ご相談ください。
指導体制 指導者1名
場所 青木ヶ原樹海内
所要時間 2～3時間

荒天時のお勧めプログラム
P.09
カリンバワークショップ

青木ヶ原樹海の神秘

今を遡ること約1200年前の貞観864年、富士山の側火山「長尾山」とその周辺から高温で大量の溶岩が流れ出しました。これを青木ヶ原溶岩流と言います。この草木一本も生えることができなかった溶岩の土地が、長い年月を経て今の森になりました。この森には、溶岩が冷え固まるときに形成されたいくつもの溶岩洞窟や、手つかずの原生的な森が広がり、極めて貴重な自然資源として他所では味わうことができない神秘と体験があります。

プログラムの流れ

- 樹海に関する説明
 - ・富士山と青木ヶ原樹海の成りたち
 - ・樹海散策の注意事項
 - ・ガイドライン
- 樹海散策
 - ・森の遷移とは
- 洞窟入洞
 - ・ヘルメットの安全な装着方法
 - ・洞窟に入る準備
 - ・洞窟探検
- 終了
 - ・ヘルメット、グローブ回収
 - ・ふりかえり

青木ヶ原樹海&洞窟探検に適した服装・装備



- ▶季節に合った運動に適した服装(体操着等、長袖・長ズボン)化繊推奨
 - ▶足元はトレッキングシューズ・運動靴やスニーカー等、脱げにくいもの
 - ▶雨天時は雨カッパ(上下別のもの)をお勧めします。
 - ▶保護のためのグローブやヘルメットはこちらでご用意いたします。
 - ▶着替え(服が汚れた場合に備え)
 - ▶リュック(両手を空けるためタオルやペットボトルを入れます。)※
 - ▶水分補給のための500mlペットボトル飲料水※
 - ▶タオル※
 - ▶洞窟用ヘルメットをかぶるので帽子は不要です。
 - ▶ヘルメットにヘッドライトが装着されているので、懐中電灯は不要です。
 - ▶携帯電話、貴重品などは持ち込まないでください。※
- ※入洞時に洞窟の入口に一時的に放置します。

ノルディックウォーク



富士山を取り囲む山々は豊かな自然でいっぱいです。このすばらしいフィールドを舞台に、ポールを使った新しいスタイルの「山歩き」を体験します。全身、特に四肢を巧みに操って「無理なく楽しく」オフロードを駆け巡り、自分の体と向き合います。

■ノルディックウォークとは？

トレッキングポール(ストック)を2本使ったトレッキングです。もともとは北欧のスキー選手達が夏のトレーニングとして行っていたスポーツです。ポールを使うことにより足腰への負担を軽減し、歩くスピードもアップします。

■トレッキングポールって？

スキーのストックのような物で、身長や山の斜度により長さを調整して使用します。(※当方でご用意します)



対応人数 ～40名
場所 河口湖周辺の山々
指導体制 指導者1名
所要時間 3時間

荒天時のお勧めプログラム
P.09
ドリームキャッチャー作り

ノルディックウォークに適した服装・装備



ネイチャーガイドウォーク



対応人数 ～200名
※ご相談ください
場所 富士山および河口湖周辺
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 2～3時間

動植物の名称や生態といった専門的な部分を伝えるばかりの自然観察会とは違い、当社のガイドウォークとは、インタープリテーション＝自然・文化・歴史と人間の間の通訳。目に見えない自然が発するメッセージを分かり易く参加者に伝え、自然とのふれあいを通じて喜びや感動を分かち合う「解説活動」です。

■コース例

※これは一例です、この他にも季節に合わせたコースをご用意しております。

【河口浅間神社～母の白滝】

樹齢数百年のスギが並ぶ浅間神社境内。ここでは、富士山と昔の人々の暮らし、云わば自然と人がいかに共存してきたのか、この神社の歴史や富士山と神社の関係、母の白滝の存在などを解説します。後半は、境内から川沿いの林道を歩き、人の手で守られた自然とありのままの自然の姿を考えます。加えて、突然姿を現す高さ15mの「母の白滝」は圧巻。そこから富士山と河口湖の素晴らしい景色も望めます。

【御中道】

富士山の中腹を一周する「御中道」。そこから見上げる富士山や眼下に望む河口湖周辺の風景は目を見張ります。しかしこの道は、かつて頂上を目指すことができなかった人々が歩いた道でした。森林限界の狭間を歩きながら、富士山で生きる植物の姿も観てゆきます。

ネイチャーガイドウォークに適した服装・装備



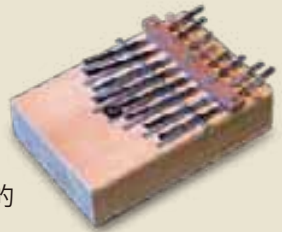
カリンバワークショップ



アフリカの代表的な木製の民族楽器「カリンバ」を組み立て、音の出る仕組みに触れていただけます。ポロンポロンと不思議な音色を奏でるカリンバの魅力や、物作りをする楽しさ、木のぬくもりを感じます。

カリンバってなに？

☆タンザニア・セネガルなどアフリカ各地にある民族楽器で形の違いとともに50以上の呼び名があります。針金等の金属を木箱に固定し指ではじいて共鳴させると幻想的な音色を奏でる不思議で魅力的な楽器、別名「親指ピアノ」とも呼ばれています。



プログラムの流れ



- 1 カリンバについて。
- 2 いろいろな工具を使用して組み立てキットを完成させる。
(使用工具：金づち・カッターナイフ・ヤスリ・ラジオペンチ・ドライバー)
- 3 完成したら自分で演奏してみよう！

ドリームキャッチャー作り



ネイティブ・アメリカンに昔から伝わるお守り「ドリームキャッチャー」を難しい機械や道具を使わずに「総合的なハンドクラフト」として実際に作り、日本以外の民族の自然観や習慣・地域に根付く伝説を知ります。

ドリームキャッチャーってなに？

☆ネイティブ・アメリカンのインディアンたちに古来より伝わる「悪い夢を捉(とら)えて破壊し、良い夢のみを人々に届ける」というお守りです。輪の中の「蜘蛛(くも)の巣」を手で編み、フェザー(鳥の羽根)やビーズなどを使って作ります。



プログラムの流れ



- 1 ドリームキャッチャーについて。
- 2 ドリームキャッチャーの作り方やコツなどの説明をします。
- 3 いよいよ実制作にとりかかります！

機織り体験



富士山周辺は昔から織物産業が盛んです。なかでも、河口湖町の大石地区は「大石紬」という稀少で素朴な織物がありました。このプログラムでは「大石紬」の歴史や特徴などを聞きながら、富士山周辺地域で今もなお受け継がれている織物工場から出る端材をリサイクル活用し、オリジナルのテーブルセンター 作りに挑戦します。



対応人数 ～30名
場 所 屋内(テーブル)
指導体制 指導者1名
所要時間 3時間

プログラムの流れ



- 1 大石紬について。
- 2 機織りの作り方やコツなどの説明をします。
- 3 オリジナルの作品作りにチャレンジ。

甲州名物ほうとう作り



甲州地域(山梨)に古くから親しまれてきた「ほうとう」をめん打ちから体験し食事していただき、この地域の歴史と文化を味わいます。

ほうとうってなに？

☆少し幅が広く平たい「うどん」のような麺です。その麺と野菜と一緒に入れ、味噌仕立てで煮込んで食べます。
＜具材の例＞
大根・人参・ごぼう・しいたけ・かぼちゃ・長ねぎ・油揚げなど、その季節ごとに旬の野菜を使います。

※アレルギーのある方は、事前にお申し出いただければ、対応いたします。



※食事プログラムとしても対応可能です。詳細はご相談ください。

対応人数 ～400名
※ご相談ください
場 所 屋内(テーブル)
または屋外施設
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 2～3時間

プログラムの流れ



- 1 ほうとうの由来や歴史について。
- 2 めん打ちや野菜の切り分けをしながらほうとうを作ります。
- 3 完成後、お楽しみの食事タイムです。

縄文式土器作り



冷涼な土地域であるにもかかわらず、縄文式土器が数多く発見されているここ富士北麓・河口湖に浮かぶ「鵜の島」。それにちなんで縄文人の生活のあかし＝縄文式土器を作ります。また縄文土器の誕生とつくり方、仕組みについて知ります。

焼き上げについて

※作品は当社で焼き上げを行い、後日団体宛に宅配便にてお送りします。(完成まで約2ヶ月前後) 焼き上げ時に「ひび」や「割れ」をおこす可能性がある為、乾燥段階で全ての作品を写真に収め、作品と併せて送付いたします。



対応人数 ～200名
※ご相談ください
場 所 屋内(テーブル)
または屋外施設
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 2～3時間

プログラムの流れ



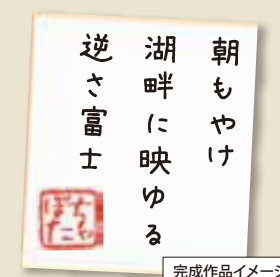
- 1 縄文式土器の歴史について。
- 2 ねんどを練りながら形を作り上げてゆきます。
- 3 わら縄などを使って紋様をつけたら完成です。

テン刻作り体験



昔から印材として使われている青田石を使用したオリジナルのテン刻作り体験。山梨県は「はんこ」の全国シェアがナンバー1、「はんこ」のふるさとならではの体験型クラフトをお楽しみいただけます。「テン刻とは？」や、「はんこの歴史」などの話の後、「オリジナルのはんこ」をデザインし印刀で彫って製作します。

テン刻作り体験の様子



対応人数 ～150名
※ご相談ください
場 所 屋内(テーブル)
または屋外施設
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 2～3時間

プログラムの流れ



- 1 テン刻について。
- 2 デザインの原案を考えます。
- 3 印刀を使ってデザインに合わせてテン刻を彫り、色紙に押印。

エコキャンドルワークショップ

私たちの食生活に非常に身近な存在の「食用油」。その油が台所から少量でも川や湖に流れ出してしまうと・・・水生生物の減少・水辺の変化など自然環境に大きな負荷を与えてしまいます。こんな「人間生活と水環境」のことを考えながら、食用廃油を活用してきれいでエコなキャンドルを作ります。



対応人数 ～150名
※ご相談ください
場 所 屋内(テーブル)または屋外施設
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 1～2時間

プログラムの流れ

- 1 キャンドルについて。
- 2 廃油を使ったエコキャンドルをひとりずつ実際に作ります。
- 3 水環境について。

オリジナルバター作り

世界でたったひとつのオリジナルバターをハンドメイド。バターができ上がる仕組みを知り、ハーブなどでアクセント、最後に塩でお好みの味に仕上げます。焼きたての天然酵母パンとハーブティーでお召し上がりください。(※試食後に余ったバターはクール宅配便で発送します。)



対応人数 ～400名
※ご相談ください
場 所 屋内(テーブル)
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 1～1時間30分

わらじ作り体験

100%天然素材で作る昔の知恵でできた靴「わらじ」。日本の貴重な生活文化であるわらじを昔ながらの手法を使い、自分の足にぴったりのサイズに合わせたオリジナルを編みあげます。きっとみんな初めての履き心地に感動間違いなし!



対応人数 ～400名
※ご相談ください
場 所 屋内または屋外施設
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 3時間

フラワーアート

河口湖といえば「ハーブ」と、すっかり河口湖の代名詞として定着しています。また、富士山周辺には、たくさんの草花があります。こんな自然豊かな場所で、色が変わらない押し花を使ったオリジナルのドアプレートを作ります。



対応人数 ～400名
場 所 屋内(テーブル)
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 1～2時間

農業体験プログラム

富士山麓の農園で行われている畑作やビニールハウスでの「農業」を体験します。作物の特徴や栽培方法を知り、実際の様々な作業から農業の使命や役割、また農業が抱える問題や課題について理解します。完全無農薬・有機栽培なので体にも安心安全、富士山の懷で「土」と戯れます。



対応人数 ～200名
※ご相談ください
場 所 提携農園・他
指導体制 おおむね40～50名に指導者1名
所要時間 1～3時間

プログラムの流れ

- 1 農業について。
- 2 農作業(耕作・播種・収穫・他)。
- 3 試食※・ふりかえり。

※季節により、試食ができない場合もございます。

その他のプログラム

◆・・・野外
●・・・屋内
■・・・野外・屋内対応

4
シ
ー
ズ
ン

環境教育ワークショップ



8 輪駆動特殊車両乗車体験



アウトドアクッキング



サバイバルキャンプ



自然観察&トレッキング／登山(紅葉台周辺・蝙蝠穴・野鳥の森他)



「命を食べる」プログラム



バームクーヘン作り



オリエンテーリング



バードコールプログラム



ムサビライブウォッチング



チャパティー作り



こんにやく作り



ヘンプクラフト



ウォークラリー



森林整備プログラム



職業体験



長距離踏破プログラム



キャンプ



バードウォッチング



昔あそびプログラム



火起こし体験



3
シ
ー
ズ
ン

フライフィッシング体験



ルアーフィッシング体験



清掃活動



クライミング体験



山菜採り体験



スラックラインチャレンジ(綱渡り)



長距離マウンテンバイクトラベル



期
間
限
定

富士山登山(7～9月)



スノーシュー体験(降雪期)



雪あそび(降雪期・12～3月)



ワイン作りプログラム(8～10月)



ウインターバードウォッチング(11～4月)



植林プログラム(4～6月、9～11月)



オリジナル味噌作りプログラム(12～3月)



体験スキー&レッスン(12～3月)



※全てのプログラムは、山梨県内外問わず、開催可能です。また、指導者の派遣も承ります。お問い合わせください。

その他、詳細についてはお気軽にお問い合わせください。

Tel.▶ 0555-20-4052 Mail.▶ info@c-ls.jp

思い出に残る「記念写真」

各プログラムにおいて、担当する指導者がデジタルカメラを携帯し、活動の写真を撮影します。データはメールまたはCDにより無料でお渡しします。教育活動などの記念にどうぞ。



- ※1.「活動記録写真」ではありませんので、活動時間全体に対し詳細な部分での撮影ではありません。
- ※2.全ての参加者が網羅されない場合があります。
- ※3.野外での活動において指導者が一人の場合は、安全管理上または時間に関係する要因で撮影ができない場合があります。
- ※4.お渡しするデータの画像のクオリティー等、ご要望に沿うことができない場合があります。
- ※5.データのお渡しはプログラム催行日から、2週間～1カ月後となります。

当社の安全管理体制について

当社が実施する全てのプログラムにおいて、安全対策を講じるプロセスで様々な観点から危険因子を分析し、担当指導者のもとそれらをプログラム運営に反映し安全管理体制を構築しています。これは、「君子危うきに近寄らず」や「野外活動は危険」という考えに基づく「活動委縮的」な方向では決してなく、野外でのそれぞれの活動における最大限の教育的効果の追求や自然を満喫して頂くための当社のポリシーです。

● 安全対策の要点 …「安全管理技術の習熟」と「安全管理思想の醸成」の融合

安全対策とは「事前に安全や危険に対する策」を講じること、言わば事故を未然に防ぐための作戦と言えるでしょう。当社では、万が一を想定し全ての指導者が各プログラムにおける危険因子をプロとして共通認識し、組織的な応急救護体制と緊急時対応が出来るよう、随時社内外研修を実施しています。不慮の事故と真正面から向き合う「態度」と「姿勢」が真の「安全対策」を実現させます。



● 高度なレスキュー技術が参加者を守る … プロの正しい知識と技術

当社の全ての指導者は、国連下部組織「世界安全機構」をはじめ先進諸国の公的機関公認であるMFA（メディックファーストエイド）の応急手当ライセンス保持者です。一般生活環境における応急手当技術のみならず、小児対応、緊急酸素、AED、低体温症、感染症の他、緊急の現場で即応するために「生きた安全管理

技術」を目指し様々な場面でのレスキュー訓練を実施しています。また、各プログラムにおいて、発生すると考えられる事故を熟慮し、発生しうる怪我に対応するためのファーストエイドキットを携行しています。

● 適切な「参加者に対する指導者数」…「量より質」の実践

プログラムに配置される指導者数は、プログラムの安全管理や教育（効果）的な部分に大きく影響すると考えられています。当社のプログラムに配置する基本的な指導者の数は各プログラムの案内でお示ししている通りですが、これはあくまでもガイドラインとして考えています。安全面において、天候・アクティビティ・参加者等々、多様多元な要因によって考えられる適切な指導者を配置します。



● 実際の活動から「物的危険因子」を排除

当社のいくつかのプログラムでは、参加者のお名前以外に、身長や体重、体格、既往症やアレルギーを事前にお尋ねしています。昨今、個人的な情報の保護が取り沙汰されているため、ご協力ままならないケースも出てきているのが実情ですが、これは一重に「物による事故を排除する」という、当社のポリシーに他ありません。カヌーにおけるメンバー構成やライフジャケットのサイズ、マウンテンバイクの10種近いサイズから使用者にベストなサイズ、食事系のプログラムでは非アレルギー性の食品準備、楽しく安全に体験頂くための指導者数や補助具のユニバーサルな対応など、様々な視点から実践しています。何卒ご協力のほどお願いいたします。



主なプログラムから 得ることが期待される能力や教育効果

当社が実施する主なプログラムにおいて、得ることが期待される能力や教育効果を一覧表でチェックいただけます。

	主 体 性	協 調 性	課 題 解 決	コ ミュ ニ ケー ション	リ ー ダ ー シ ップ	判 断 力	忍 耐 力	チ ャ レン ジ 精 神	企 画 力	計 画 性	自 然 理 解	そ の 他 特 定 の 知 識	そ の 他 特 定 の 技 術	地 域 文 化 の 理 解
カヌー体験	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
マウンテンバイク体験	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
バスフィッシング体験	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
ネイチャーガイドウォーク	●										●	●	●	●
青木ヶ原樹海&洞窟探検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ドリームキャッチャー作り	●									●	●	●	●	●
甲州名物ほうとう作り	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
エコキャンドルワークショップ	●	●	●						●	●	●	●	●	●
機織り体験	●		●						●	●		●	●	●
農業体験プログラム	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●

プログラム内容に関するQ&A

全体に関する質問

Q. 団体プログラムの最少催行人数は何名からですか？

A. 基本として20名以上(小・中学生のカヌーは21名)となります。20名未満の場合はご相談ください。

Q. 事前に参加者名簿は必要ですか？

A. プログラムによっては必要です。ご予約時に当社のフォーマットをお送りしますので、必要事項をご記入のうえ返信をお願いします。

Q. 雨の場合は？

A. 強風雨でなければ実施可能です。雨での実施を希望されない場合やできないと判断した場合は、全天候(室内)プログラムにお振替えいただきます。雨天キャンセルの場合は、キャンセル料として50%頂戴いたします。

Q. 荒天時に他のアウトドア種目の振替も受け入れてもらえますか？

A. もともと実施予定のプログラムに人数増という形で承れます。ご相談ください。

Q. 荒天お勧めプログラム以外のプログラムでもいいのですか？

A. 食材準備が必要な「ほうとう作り」「バター作り」以外でしたらどのプログラムでも可能です。料金は実施したプログラムの料金となります。

Q. 荒天時のプログラムを複数から選択することはできますか？

A. 原則としてアウトドア1種目につき、室内1種目をお願いします。

Q. 携行する荷物はどうしたらいいですか？

A. プログラムで必要となる荷物以外は、できるだけバスの中等に置いてくる事をお勧めします。

Q. けが人等が出た場合はどうなりますか？

A. 担当スタッフが応急手当をさせていただきます。それ以上の処置が必要な場合は、病院等の手配をいたします。病院までの移動につきましては各団体様でご用意いただくことを原則とさせていただきます。

Q. 引率者は何人必要ですか？

A. 高校生までのプログラムの場合は1名以上をお願いします。見学でも一緒に体験していただいてもかまいません。

Q. 引率者の体験料金はどうなりますか？

A. 子ども団体の場合、参加者20名に対し1名の引率者は無料でご参加いただけます。但し、釣りの場合は遊漁券代は必要です。

カヌーに関する質問

Q. 何人乗りですか？

A. 当社ではある程度の乗艇重量確保と体力の観点から、中学生までは1艇3名乗り、高校生以上は1艇2名乗りを基本としています。軽すぎると少しの風で前進できなくなる事があります。

Q. グループ分けはどのようにしたら良いですか？

A. 事前にグループ分けをお願いします。当社からチーム編成表フォーマットをお送りしますので、必要事項をご記入のうえご返送をお願いします。(小中学生1艇3名、高校生以上1艇2名)

Q. 1艇の定員に対し人数が割り切れない時はどうしたらよいですか？

A. 3名が定員の時は最後の2艇を2名ずつ、2名が定員の場合最後の1艇を3名にしてください。3名が2名になる場合は身体の大きい方同士、2名が3名になる場合は身体の小さい方同士で調整していただくと良いです。

Q. ひっくり返りませんか？

A. カナディアンカヌーはカヤックに比べ安定性が高く、ひっくり返ることはめったにありません。ひっくり返るのは多くの場合、わざと揺らしたり、他のカヌーにぶつかけたり、波を指示通り受けられなかったりした時です。ひっくり返ることで、怪我をすることはありません。直ちにインストラクターが救助し、浜へ戻ります。寒くなる場合は速やかに着替えていただき、その後は続けられなくなります。寒くない場合は、そのまま続けることもあります。

Q. 泳げなくても大丈夫ですか？

A. 必ずPFD(ライフジャケット)をつけていますので、泳げない方でも浮いていることができます。

Q. 障がいがあっても大丈夫ですか？

A. ほとんどの場合は大丈夫です。事前にお知らせいただければ、個別に対応させていただきます。これまでも肢体不自由、聴覚視覚障がい、知的障がいのある方々にも楽しんで頂いています。

Q. 水温はどのくらいですか？

A. 団体でご利用いただいているのは、概ね4月～11月です。河口湖の水温は5月上旬：17℃、8月：28℃、11月：13℃程度です。

Q. カヤックと違うのですか？

A. カヤックは1人で両サイドを漕ぎ、カナディアンカヌーは1人で片側、2人で両側を漕ぎますので、個人差が出ていくコミュニケーションをとる事が大切になります。またカヌーの上部が空いているので、万一転覆しても“カヌーから抜け出せない”という事はありません。

Q. 水分補給はなぜペットボトルなのですか？

A. カヌーに持ち込みますので、水筒ですと落とした時に沈んでしまう物があります。ペットボトルですと浮くので万一の際拾う事ができます。

Q. 施設浜使用料とはなんですか？

A. 浜(管理地)等の使用と濡れた場合の着替え場所・トイレ・駐車場の利用をさせていただく施設へ支払う費用です。学校団体が利用の場合、1施設1団体が基本ですので他校と接触する事も防ぎます。

Q. 他の湖でできますか？

A. 諸条件によっては山中湖、西湖等でも可能です。ご相談ください。

【バスフィッシングに関する質問】

Q. どのような道具を使うのですか？

A. スピニングリールがついた竿一式を使います。
学生団体の場合は餌釣り、大人の場合はルアー釣りを基本としています。

Q. 餌は何ですか

A. 生イカを細く切ったものを使用しています。時間内必要なだけお使いいただけます。

Q. ルアーが無くなったらどうするのですか？

A. 釣りを続ける場合は新たにルアー (500円) を購入していただけます。

Q. 遊漁券って何ですか？

A. 河口湖をはじめとする富士五湖は、各地域の漁協が管理していますので、釣りをする権利を漁協から購入します。当日のみ有効で払い戻しができませんので、ご注意ください。金額は湖により異なりますので、ご確認ください。(小学生以下は無料)

Q. いけすに入れた後の魚はどうするのですか？持ち帰れないのですか？

A. 魚種によって対処が違いますので、プログラム終了後こちらで処理します。ブラックバス・ブルーギルを生きたまま持ち出すと法律により罰せられます。ご注意ください。

Q. どのくらい釣れますか？

A. 時間帯、天候、水温等に大きく左右されます。グループ全体で1匹も釣れない事はあまりありませんが、全員が釣れるということもほとんどありません。ブラックバス以外に、ブルーギル、ハヤ、ウグイ、マスなどが釣れています。

Q. 自分の道具を持っていてもいいですか？

A. 竿とリールセットをお持ちいただく場合は、事前にお知らせいただければ若干の割引がございます。

Q. ルアーを持っていてもいいですか？

A. ルアーは所属団体(学校等)が許可すれば使用していただいてもかまいません。
ご自分でしかけの変更ができることが前提です。※ワームの使用は条例により禁止されています。

Q. 怪我はないですか？

A. 針が引っ掛かってしまう事故が2～3年に1回程度起きています。自分で自分を釣ることはほとんどありませんが他の人に刺さる場合がほとんどです。頭の周りだけでも守るため、引率者を含め、帽子の着用をお願いしています。

【マウンテンバイクに関する質問】

Q. どんな自転車を使っているのですか？

A. ハロ、マングース、G T等の18～24段変速のマウンテンバイクを使用しています。身長120cm以上の方から対応できます。

Q. 怪我はしないですか？

A. 転んで擦り傷はありますので、長そで長ズボンで怪我の軽減に努めます。

Q. どんなところを走るのですか？

A. コースのほとんどがオフロードです。
学生団体の場合、原則として施設内のコースを利用し、大人の場合は林道を下るコースもあります。

【樹海洞窟探検に関する質問】

Q. なぜ春(5・6月)の学校団体は実施できないのですか？

A. 他の事業者がたくさん実施しており、現場の混雑と自然環境への負荷を考え、当社では自主規制し春の学校団体向けには実施を控えさせていただいております。ご理解ください。

【インドアプログラムに関する質問】

Q. 会場はどこですか？またいつ決まりますか？

A. 参加人数が決まってからの会場手配となります。河口湖周辺の研修室や体育館、レストランなどを手配しています。会場費はおおよそ1名：200円必要となります。

Q. 荒天振替で実施の場合の会場は？

A. バス1台程度の人数であれば、前日など直前に手配させていただくことが多いです。「事前に会場を確定したい」また人数が多い場合は事前に手配させていただきますが、その場合は使用の有無にかかわらず、会場費が必要となります。

Q. 宿泊先で実施してもらえますか？

A. 宿泊施設様がご了承いただければ、全ての道具・材料を持って伺います。富士五湖エリアの宿泊施設であれば、出張料は頂いておりません。会場費については宿泊団体様でご確認ください。

その他、ご質問等がございましたらお気軽にお問合わせください。

Tel.▶ **0555-20-4052** Mail.▶ **info@c-ls.jp**